

京都大学大学院人間・環境学研究科 認知・行動科学講座 認知科学分野（月浦研究室）  
認知神経科学研究に関する情報の公開

このお知らせは、下記課題名の研究に協力頂きました皆様に、データの2次利用についてお知らせするものです。

- **【27-H-2】共感が記憶と幸福感に与える影響とその脳内機序の解明**

**【お知らせの主旨】**

今回のお知らせの主旨は、上記研究課題における研究用データの一部を、月浦研究室が主導する他の認知神経科学研究に2次的に利用することについてご案内するものです。

ヒトを対象とした認知神経科学研究では、機能的磁気共鳴画像（fMRI）などの脳画像の研究資源は重要な役割を果たしています。しかし、個別の研究がこれらのデータを短期間に多数収集することは容易ではありません。

そこで、今回新たに実施する、「共感性と主観的幸福感に関連する安静時 fMRI データの解析」に対して、データを提供することになりました。

なお、「【27-H-2】共感が記憶と幸福感に与える影響とその脳内機序の解明」の研究課題に以前に参加して頂いた方々には、研究参加の際に記入して頂いた同意書において、月浦研究室が主導する他の研究課題においてデータを2次的に利用する可能性について同意を頂いております。

**研究目的の概要：**

日常生活において、他者の感情や意図を理解しそれに沿った言動をとることは適切なコミュニケーションにとって重要です。先行研究では、他者に対する共感性と主観的幸福感とが関連することが示唆されていますが、それがどのような脳内機構を基盤としているのかについては、これまでにほとんど理解が進んでいないのが現状です。本研究では、他者に対する共感性と主観的幸福感との関係がどのような脳内メカニズムによって実現されているのかを明らかにすることをめざします。本研究の成果は、社会的関係性におけるメンタルヘルスの向上に対して寄与することが期待されます。

研究責任者：月浦 崇（京都大学大学院 人間・環境学研究科 認知・行動科学講座 教授）

**研究計画書および研究方法に関する資料の入手・閲覧について：**

「【27-H-2】共感が記憶と幸福感に与える影響とその脳内機序の解明」に参加した方々に対しては、検査結果・研究計画および研究の方法に関して、他の研究対象者等の個人情報の

保護に配慮し、知的財産の保護を含む研究に支障がない範囲で開示を行います。

なお、今回の新たな研究へのデータの提供に際しては、個人が特定されないように個人情報の保護に十分に留意します。具体的には、個人情報を登録番号（ID 番号）に置き換えて匿名化されたデータを提供します。また、個人情報と登録番号を結びつける対応表は、データを収集した月浦研究室でのみ保管されます。研究成果を公表する際にも、個人名が特定されることはありません。

同意の撤回などについて：

本研究にご協力頂きました皆様もしくはご家族の方で、今回の件についてご同意頂けない方は、下記へご連絡くださいますようお願い申し上げます。お申し出によって、不利益を被ることはございません。ただし、既に論文として公表されていたり、解析が済んだりしたデータ等については、撤回に応じることができない場合がございます。その場合でも、追加の解析にはデータは使用しないように致します。

お問合せ、研究への利用を拒否される場合の連絡先：

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科

認知・行動科学講座 認知科学分野（月浦研究室）

担当：月浦 崇

（TEL）075-753-6533（人間・環境学研究科 総務掛）